

町政を質す

ただ

中村 忠行 議員

機構改革による危機管理室の実効性について

大場 洋介 議員

地域の未来を支える力について

沼澤 道也 議員

金山型農業のこれからは

須藤 典夫 議員

新設計画の「ホットハウスカムロ」の給湯設備は

五十嵐 優一 議員

安心・安全なまちづくり

一般質問とは

年4回の定例会で行う。議員が町の行政全般について、事業執行の状況や将来の方針等について所信を質し、あるいは報告や説明を求めるなどの政策議論の場である。
町議会では、質問要旨を事前に通告することとし、限られた時間内で、大所高所からの建設的で簡明な質問が求められている。



春季消防演習（分列行進）



なかむら ただゆき
中村 忠行 議員

問

消防団員の処遇格差是正を

答

加算等を含め処遇改善を研究

消防団員の処遇格差の是正を

中村議員 基本団員と機能別団員の報酬格差は不均衡では。出動手当は最低賃金を下回る。

消火栓装備の統括管理体制を

中村議員 格納箱の点検管理と費用負担ルールは。全庁統括体制の構築を。

町長 社会情勢を踏まえ長時間出動時の加算等を含め総合的処遇改善を研究する。

危機管理主幹 各分団で毎年点検。自然劣化は公費負担。統括体制を整備する。



ホース格納箱

防災協定の実効性確保を

中村議員 防災協定の件数と内訳、代替調達先、協定台帳の状況は。

町長 公的9件、民間20件。台帳整備済。実効性確認の体制を推進する。



おおば ようすけ
大場 洋介 議員

問

次世代に繋ぐ『相互扶助』推進を

答

重層的支援体制の構築を目指す

地域の未来を支える力について

大場議員 『相互扶助』の試みと次世代に繋ぐ課題・対応は。

町長 従来の家族内での支え合いや地縁社会による相互扶助の機能の低下が喫緊の課題。高齢者支援において、住民一人ひとりが主役となる『重層的支援体制』の構築に努め、温かな地域共生社会を目指す。

大場議員 労働力確保が急務な中、作業受託の広域化に対するバックアップ体制などの認識は。

町長 労働力のシェアリングや広域化は有効的であり、連携組織の立ち上げや農業機械の導入に対する財政的支援などを行う。

大場議員 芸術・伝統文化の担い手育成に、行政と地域がどう協力するか。

町長 会員減少や高齢化が課題であり、「小さな拠点づくり支援事業」を結び付け福祉の視点を取り入れる。



次代に伝承される子ども歌舞伎

大場議員 『こども基本法』の施行を踏まえ、こども・若者の意見の政策反映に向けたガイドラインの現状と政策立案にむけての課題は。

町長 高校生の模擬議会などで町づくりに繋げる取り組みを先進的に実施。実効性のある政策へブッシュアップさせることが今後の課題。『こども計画』の策定に向け検討する。



ぬまざわ みちや
沼澤 道也 議員

問

基盤整備の促進を

答

地区関係機関と協議を推進

「地域計画」の取り組みで学んだ事

沼澤議員 地域計画の課題と今後の方向性は。

農林課長 1900haの農地を次世代に守り伝えていくことが、担い手不足の深刻さから将来的に大きな課題であることが浮き彫りになった。話し合いの中で約300haの受入れ先が未定の状態にある。今後は300haの集約化やニラ栽培など高収益園芸品目の拡大などを進め、多様な担い手の育成に努めていきたい。

沼澤議員 朴山・三枝地区の基盤整備を促進する必要性は。

町長 集約化を進める上で重要な課題と考えている。地区、関係機関との協議を推進していきたい。



朴山地区農地の様子

「金山型農業」の振興に期待

沼澤議員 4/21ライフビジョンでのニラ栽培の取り組み主旨は。その背景や農業振興の位置づけは。

農林課長 深刻な担い手不足と高齢化が背景にあり、補助制度の活用で定年退職後の生きがい創出や園芸生産額の維持、拡大を図っていききたい。農林課・農業委員会・金山農協による「三位一体のサポート体制」も構築していきたい。